



令和6年11月14日(木)に、東京都港区のホテルにおいて、和歌山県知事より農事功労者として推薦を受けられた山崎茂樹氏(土生)が、総裁秋篠宮皇嗣殿下ご臨席の下挙行された式典において、令和6年度「緑白綴有功章」の表彰を受けました。山崎氏は、和歌山県農林水産業賞の受賞をはじめ、農業士会会長など、様々な団体の役職を歴任すると共に、地域農業の振興にも多大な貢献をされた業績が評価されての表彰となりました。

公益社団法人大日本農会による「令和6年度農事功績表彰」が行われました。



令和6年度 日高川町文化表彰

令和6年12月4日(水)に農村環境改善センターにおいて、令和6年度日高川町文化表彰式が行われ、文化賞で2名、文化奨励賞で1名が表彰されました。



令和6年12月2日(月)に、和歌山県庁において、本県の農林水産業の振興に貢献された方を対象として、令和6年度「和歌山県農林水産業賞」の表彰式が執り行われ、龍田雅人氏(船津)が農業部門において受賞されました。龍田氏は、日高川町農業振興協議会会長をはじめ、38年間携わってきた農業士会会長など、様々な団体の役職を歴任すると共に、地域農業の振興にも多大な貢献をされております。

令和6年度「和歌山県農林水産業賞」を受賞されました。

日高川町文化賞 故森口 利次(号 剛次)様(和佐)

大学卒業後に教職に就かれ、その傍ら作陶活動を始められました。その後、2002年に「第54回和歌山県美術展覧会」で知事賞、2009年に「神戸J1エンナーレ」で審査員特別賞、京展では2010年から4年連続入選するなど数多くの受賞歴を有されました。2021年の「笠間陶芸大賞展」での入選作品は、体調を崩されて、創作を一時中断されましたが、完成までに約6年を費やした大作です。また「日高川町文化表彰」においては、第1回から第9回表彰まで選考委員を務められ、本町の文化表彰の実施にも貢献されました。作陶活動を継続されることを期待されておりましたが、昨年5月に永眠されました。本町における文化活動の推進や文化の向上発展に尽力なされました。

日高川町文化賞 休山 優美子(芸名 若柳 吉優世)様 (御坊市湯川町小松原)

30歳代で師範免許を取得され、約60年前に「御坊日舞の会」が設立された当初からの会員として、活動を続けておられます。約16年前の道成寺会式を機に、本町で日舞「清姫会」を設立し、日本舞踊の魅力である着物を着た所作や立ち振る舞いを原点とした謙譲の美徳などを多くの日高川町民に伝えてこられました。町内各種行事への出演など地域に根差した活動にも取り組んでおられます。また道成寺会式の実行委員を長年務められ、過去2回開催された「道成寺釣鐘 お里帰り」では、ジャンジャカ踊りを披露され、町内外に地域文化を発信されました。舞踊の伝承と普及を通じて、本町の文化活動の発展や地域文化の向上に貢献されています。

日高川町文化奨励賞 的場 浩輝様(小熊)

現在、智辯学園和歌山中学校の2年生で、美浜町の木坊子映紅書院に所属されています。小学1年から書道を習い始め、小学3年時に「春日大社 清書会」で奈良県知事賞、小学4年時に「全国書画展覧会」でNHK広島放送局賞を受賞されました。その後も稽古を積み重ね、小学6年時には「毎日書道展」で年間最優秀賞、「全国学生比叡山競書大会」で京都市長賞を受賞されました。中学校へ進学後も書道続け、中学1年時に「成田山全国競書大会 半紙の部 展覧会」で審査委員長奨励賞を受賞されました。書道で培った集中力を普段の勉強などにも活かし、学校生活との両立にも取り組んでおられます。現在も稽古に励んでおり、今後もより一層の活躍が期待されています。